



北海道置戸高等学校 PTA だより

第124号
令和3年3月1日
発行 置戸高校PTA

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様には、お子様が立派に成長され、今日の日を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。

校長先生をはじめ、先生方におかれましては、生徒達をここまで温かく、時には厳しく導いて下さり心よりお礼申し上げます。また、日頃より地域の皆様におかれましては、置戸高校の生徒を温かく見守って頂き心より感謝申し上げます。

生徒の皆さんにとってこの三年間、介護の勉強に全力を尽くし、部活や寮生活などの経験を通して大きく成長し本当に良く頑張りました。また、コロナの影響で実習が中止になったり、リモート授業になったりした大変な状況の中で、限られた中で自分たちができる事は全力で努力する姿は本当に立派でした。これから社会に出て色々な困難に出会った時にはこの経験を生かして力強く乗り越えていって下さい。それでも悩んだときには、いつでも帰ってきて下さい。皆さんの周りには、たくさんの友人や先生、私たち親、力になりたいと思っている人がたくさんいます。

最後に、この三年間、たくさんの素晴らしい前進する姿を見せていただきありがとうございます。これからが皆さんにとってのスタートとなります。大人としての責任を持ち、輝かしい未来に向けて尚一層、前進して行って下さい。

皆さんの輝かしい未来を心から応援しています。

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様方には、お子様たちの卒業を心よりお祝い申し上げますとともに、これまで、本校の教育活動に御理解と御協力を賜りましたことに厚くお礼を申し上げます。

コロナ禍にあつて、卒業生の皆さんにはこれまでにない我慢や対応を強いることになりましたが、そうしたやむを得ない状況を受け入れ、粛々と日々取り組んでくれたことに改めて敬意を表します。

さて、卒業生の皆さんは、このあと本校で学んだ基礎・基本を土台にし、それぞれのステージで新たな気持ちでスタートすることになります。

いま、先行き不透明な時代とか急激に変化する時代と言われています。目の前の状況が刻々と変わる中、これまで通りのやり方に固執し、現状維持を続ければ後退となりますので、目の前の状況をきちんと捉えて、柔軟に対応できること、変えることのできる人が今後、求められていくと思います。「成長とは変化すること」だと先輩教師から聞かされたことがあります。でも、人は変化することを嫌う傾向があります。自分を否定することからはじめないといけないからです。ただ、自分をずっと肯定し続けていても成長はありませんので、自分を否定することは、自分をなくしてしまうことではなく、新しい自分生まれ変わることと認識するとよいと思います。自分が変わると、同じものでも、風景が違って見えると思います。自分が変われば世界も変わるのです。成長することの醍醐味はそこにあると思います。是非、卒業生の皆さんには、これからの人生の中で気付いてもらえればと思います。

本校で身に付けた「福祉」の知識・技能や考え方は、福祉関係に進む人はもちろん、福祉以外の道に進む人にとっても大いに生かせる場面があると思います。それだけ、福祉が人間の生活、活動のあらゆる部分に関連性を持っているからです。柔軟な発想で福祉をさらに幅広い視点で捉え、福祉の素養を持った人が、幅広く活躍できる社会が創られることを願うとともに、是非そうした社会の担い手になってほしいと思います。

卒業生の皆さんが、これからの時代にしなやかに対応し、着実に成長してくれることを願っています。

「卒業おめでとう」

PTA会長 岡田 誠

「卒業に寄せて」

校長 小森 章史

「二年生の証～許可テストを終えて」 2年 N・Y

時間の感覚がなかなか掴めず最初は2分間の物品集めに苦戦していた私たち2年生も、許可テストに全員合格することができました。許可テスト期間中、不安と緊張で教室内の空気が重くなったり、普段は学校中に響き渡る元気な笑い声も聞こえなくなるくらい真剣に取り組んだ結果だと思います。

2年生全員が許可テストに合格することができたのは一人ひとりの努力、クラスとして協力しあうことは勿論、家族からの応援や先生、先輩方から沢山のアドバイスをいただくことができたからです。来年の許可テスト時期には私たちも後輩にアドバイスできるような先輩でありたいです。

春からは3年生になり、全学年の見本にならなくてははいけません。置戸高校の顔として相応しい行動、言動を心掛けていきたいです。また、来年1月には3年間の集大成である国家試験が待ち受けています。今は高い壁でしかありませんが、許可テスト同様に全員が自信を持って国家試験に合格するために一日一日を大切に、模試や模試解説をクラス一丸となって頑張っていきたいです。

2年生入浴介助の様子。置戸高校には一般浴槽と特殊浴槽があります。



2年生全員そろって、実習前確認テスト（許可テスト）合格しました！自信あふれる笑顔です。

1年生も1月から本格的に校内での介護技術の勉強スタートです。



「私が5日間で学んだこと」 1年 Y・N

今回の5日間の介護実習を通して協力する意味やその大切さを学びました。私は、介護実習が始まる前まではどうしてもすべてのことをペアで協力し、行うのかあまり理解していませんでした。

しかし、介護実習が始まったことでペアで行う意味を理解することができました。私が考えるペアで行う理由は互いの苦手な事やできないことをカバーすることですばやく正確に行動することができ、ペアで沢山の意見を出すことで、自分が気づかない所に気づくことができるというメリットがあるからだと思います。他にも、ペアだからこそわかってくれることができる悩みや苦しみもあったと思います。

私は、介護実習の時に初めてと言うこともあり、苦戦することがたくさんありました。しかし、苦戦したこともペアの人が一緒に乗り越えてくれたおかげで乗り切ることができたと思っています。ペアの大切さを感じることができる5日間でした。



今年度の介護実習はすべて中止し、校内で代替して実施しました。

今後の行事予定

3/1 (月)	第55回卒業証書授与式	3/24 (水)	修了式 離任式
2 (火)	入選会場設営・午前授業		寮父母の会役員会
3 (水)～5 (金)	入選業務のため休業日	25 (木)	年度末休業（～31日）
9 (火)	PTA役員会	26 (金)	介護福祉士 国家試験合格発表
10 (水)	漢字コンクール		年度始休業（～7日）
	福祉校内模試（2年）	4/1 (木)	着任式 始業式 大掃除
11 (木)	福祉校内模試（2年）	8 (木)	
16 (火)	個人写真撮影 寮大掃除	9 (金)	入学式

卒業生の皆さんへ

三年保護者代表 松井 直彦

三年性の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
この三年間は長かったですか？短かったですか？
きつと色々な場面を思い出していることでしょう。親元を離れての寮生活・専門的な介護教科や各種実習など、慣れないことばかりで大変な苦労があったと推察します。

その苦労も「九人の仲間」家族」がいたから乗り越える事が出来たのではないのでしょうか。また、置戸町の自然や町民の方々、そして何より、厳しい中にも温かさで親しみを持って接してくれた先生方の存在が大きかったのではないのでしょうか。

卒業後はそれぞれ別の道を歩みますが、置戸高校で学んだ三年間を誇りに思ってください。卒業本当におめでとう。

次なるステージへ大きく羽ばたけ！「九人の家族」



12月上旬には全員が希望の進路が決定。

1月末の国家試験に集中できました。



卒業生の皆さん、そして保護者の皆様方、ご卒業おめでとうございます。沢山の方々に支えられ、今日この日を迎えることができ、担任として大変嬉しく思っております。
保護者の皆様には三年間、あらゆる場面で本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただき、お子様の成長を一番にサポートしていただきました。最後まで温かく見守っていただきましたこと、心より感謝申し上げます。
九人の卒業生は全員寮生で、親元を離れての三年間でした。学校でも寮でもいつも同じ時を過ごしてきたからこそ、かけがえのない仲間として、素晴らしい関係を築いてきました。
入学したあの日から、楽しいこともたくさん共有してきましたが、介護福祉士合格という同じ目標に向かって、時には辛く、苦しく、くじけそうなることも多々あったと思います。いつも九人全員が前向きに取り組み、お互いに助け合い、励まし合い、支え合い、切磋琢磨し合うその姿はとてもまぶしく、うらやましいものでした。

コロナ禍で、介護実習が中止になったり、学校生活もこれまで当たり前だったことが当たり前にできなくなりました。そのような中でも、今できることを一生懸命に取り組むこと、最善を尽くすこと、そして何より笑顔で楽しむことを忘れずに駆け抜けてきた九人でした。皆さんは置戸高校の誇りです。置戸高校で培った力を卒業後も十分発揮し、それぞれの場で活躍することを願っています。

最後になりますが、置戸町をはじめとする関係各機関の皆様からは多大なるご支援、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

卒業に寄せて

三年担任 佐藤由香里

国家試験を終えて

3年 M・F



置戸高校生が一番のイベントである国家試験が終わり、今、率直に感情を伝えるならば、楽しかったという気持ちが強いです。私は今まで勉強が苦手だったし、そもそも好きではありませんでした。

しかし、この国家試験に向けて、クラス全体が先生方に協 していただき本気で勉強してきました。私自身何度模試を解いても点数が下がってしまうことや、なかなか点数が上がっていかない苦しい時期がありましたし、きっとクラスの仲間達もそうだったと思います。そんな時期をみんなで協力し合い乗り越えてきました。自分が分からないことを調べて知る楽しさや、なによりクラス全員が国家試験に向けて一緒に勉強していく雰囲気は私には最高でしたし、本当に楽しかったです。

今回一つの目標に向けて努力し続けたことはこれからの人生を送るうえで、私にとっての大きな自信になると思います。

最後に、この国家試験に向けて、協力していただいた先生方、応援してくれた1、2年生の後輩たち、置戸町の皆さん、そして家族に感謝を伝えたいです。本当にありがとうございました。

私の挑戦

3年 M・O



私は博愛寮で寮生活を送りながら、置戸高校で3年間福祉を学んできました。介護福祉士になりたいという将来の夢を実現するため、置戸高校に入学することを決めましたが、親元を離れて一人でやっていけるのかとても不安でした。ホームシックになったり、何度もくじけそうになったりしましたが、ここまでこれたのは家族、先生、クラスのみんな、先輩、後輩、置戸町の皆さんのおかげだと思っています。

私が置戸高校に入学を決めた理由はもう一つあり、親元を離れることで自分を成長させたいと思ったからです。親元を離れることで、身の回りのことを一人でやる力や試練を乗り越える強さを学ぶことができました。また、両親への感謝の気持ちも痛感しました。寮生活を経験したからこそ得るものがたくさんありました。福祉だけではなく、人として成長できる置戸高校に入学して本当に良かったと思っています。

私は卒業後、もう一つの夢である言語聴覚士になるため進学します。勉強はとても大変だと思いますが、国家試験に合格することが恩返しだと思うので一生懸命勉強を頑張りたいと思います。そして、人のために働き、社会に貢献していきたいです。

今まで私を支えてくださった皆さん、本当にありがとうございました。これからも応援よろしくお願いします。



コロナ禍での置戸町経済対策として、博愛寮生を対象に置戸町から5000円分の商品券(9月)、3000円分のプリペイドカード(1月)をいただきました。また、置戸地区卸売市場からは全校生徒へチョコレートなどのプレゼントがありました。いつも応援してくださる置戸町の皆様に感謝しています。ありがとうございました。

三年 進路決定状況

五十音順

今年度の進学・就職先は次のとおりです。

〔進学〕

■大学

・北海道医療大学 看護福祉学部 臨床福祉学科

■専門学校

・滋慶学園札幌ベルエポック美容専門学校 美容師科

・吉田学園専門学校北海道リハビリテーション大学 言語聴覚士科

〔就職〕

■管内

・社会福祉法人置戸町社会福祉協議会

・社会福祉法人浄光会特別養護老人ホーム花の苑

■道内

・株式会社拓建工業

・株式会社ライフデザイン

・ライフカレッジ植物園前サービス付き高齢者向け住宅

・社会福祉法人栄和会特別養護老人ホームひらおか梅花実

・社会福祉法人溪仁会介護老人保健施設コミュニティホーム美唄



開校 70 周年記念事業

令和3年度置戸高校は開校 70 周年を迎えます。70 周年記念事業に向け同窓生の皆さんにご尽力いただいています。

記念式典は 10 月 3 日 (日) 予定です。

